

びわこ学院大学短期大学部 令和四年度 学校推薦型選抜（公募推薦）「教養問題」

※設問で指示をした字数には句読点等も含みます。

□ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

もう一度おさらいをしますが、自尊感情とは、「自分のことをどう見るか」という自分の価値についての主観的で感情的な評価のことです。

ドイツの社会心理学者エーリッヒ・フロム博士は、「尊敬とは、人間の姿をありのままに見て、その人が□Xの存在であることを知る能力のこと」と述べていますが、まさに自分を尊敬する心が自尊感情だと言えます。「長所も短所もある、ありのままの自分を受け入れられる」といった、能力に関係しない考えも含まれているのが特徴です。

ところで、自尊感情を育むために、「子どもを褒めましょう」と言う人がいますが、その主張は科学的に見て正しいものなのでしょうか。

確かに、褒めるというのは、その子どものよいところに気づき、指摘する行為なので、自分に対するとらえ方や考え方が肯定的になることもあります。しかし、ただ褒めたらいいというわけでもないことが、最近の研究でわかってきているので紹介しましょう。

A 「あなたの子どもが先日の試験で、クラスで一番よい成績をとったとします。「これは自尊感情を高めるチャンスだ!」とばかりに、「クラスで一番なんてスゴイね」「勉強ができてエライね」などと褒めたら、どうなると思いますか? 実は、(a)このように「現在の能力や状態」を褒められた子どもは、難しい問題を前にしたときにあきらめやすくなることが、スタンフォード大学のキャロル・ドウェック博士の研究によって確認されています。「頭がいい」などと「現在の能力や状態」を褒められた子どもは、「有能であるはずの現在の能力」を用いて問題を解決できないという状況に置かれたときに、(ア)「惨めだ」「最悪だ」と感じると思います。

そんな子どもが次に何をするか? ドウェック博士が実際に子どもたちに尋ねたところ、テストで1回失敗したら「次は多分カンニングする」「自分より成績の悪い人を見つけてホッとしようする」と答えていたのです。次に失敗しないように勉強に励むのではなく、「これ以上、傷つけないように」と、難しい問題を避ける傾向にあったのです。これは、知能を自己評価の対象とみなしているので、「テストで悪い点数をとった」という現在の失敗状態にとらわれ、打開策を検討しようという気が削がれてしまったためだと考えられます。

実際に、失敗したときの脳の状態を調べてみると、このように現在の失敗状態にとらわれている子どもたちの脳は、ほとんど活動していませんでした。この結果は、その子どもたちが間違ひから目を(イ)背け、打開策を考えようとしていないことこの(1)証と言えるでしょう。

他方で、失敗してもチャレンジし続ける子どもたちももちろんいて、そうした子どもたちの脳を調べてみると、しっかりと活動していたといいます。間違ひを処理し、そこから学び、打開策を練るために、脳が活動していたのです。

B 「クラスで一番なんてスゴイね」といって「現在の能力や状態」を褒めていると、「今、よい成績をとることがすべて」「今、褒められることがすべて」という子どもを育ててしまうのです。そして、このように「短期的な(1)シヨウニ欲求を満たせたらそれでいい」と考えるようになると、失敗をしたときに絶望的に感じ、その失敗を隠そうとしたり、自分よりダメな人を探してホッとしようとしたりして、「失敗から学ぼう」「まだ、これから成功できる」と思にくくなるのです。

また、「よい成績をとることがすべて」という子どもが、よい成績がとれなくなると、「頭の悪い自分」に価値を見出せなくなりす。すると、自尊感情も当然、低下してしまうのです。

重要なことなので、なぜ、このようなことが起こるのかについて、もう少し詳しく説明しましょう。自己啓発の源流「アドラー心理学」として有名な個人心理学の生みの親、アルフレッド・アドラー博士は、「褒めるという行為は、子どもを自分の支配下に置く行為。だから、自立を(ウ)妨げることになる」と、そのメカニズムを解説しています。

褒められて人がその行動をとるようになるのは、「褒められたいから」が理由であり、必ずしも「自分がもっと学びたいから」という内発的動機のために、その行動をとるわけではありません。「勉強ができてエライね」などと、褒めて言うことを聞かせる「縦の関係性」は、子どもの「このことをもっと知りたいから勉強しよう」という好奇心や自発性を妨げることになりかねないのです。

また、「クラスで成績が一番になっただなんて、スゴイね」などと、他人と比べ、その違いを強調する褒め方をすると、競争心理を生み、「他人は敵」と見るようになってしまいます。テスト前、クラスメイトに「全然、勉強していない」などと言って油断をさせておいて、自分が一番いい成績をとろうとする(勉強ではなく、ライバルを出し抜くことに労力を割く)のは、(b)その一例です。

C、このように他人と比べるような褒め方をされていると、「クラスメイトより勉強のできる自分はスゴイ」というように、相対的に自分の価値を測るようになります。すると、クラスメイトより悪い成績をとったときに、「自分はダメで無能な人間だ」などと自分の価値が感じられなくなります。「私は私だからよい」と、自分に対して絶対的な価値を感じられなくなるのです。

勉強、運動、そして何より「生き抜く」という場面で大切なことは、あきらめてしまわず、自分を信じ続けることです。失敗しても自信を失わず、難しい問題を前にしてもあきらめずにチャレンジし続けられるようになるために必要なのは、「今の努力が、よりよい将来や自分の成長につながっている」と感じられること。「チャレンジするのが好き」「わかることが増えたらいいなと願っていた」という子どもの内発的動機を失わず、不屈の精神を(エ)育むような接し方をしていきましょう。

ではどう接したら、失敗してもあきらめない、不屈の精神を育むことができるのでしょうか？ ポイントは、「現在の能力」を褒めるのではなく、「将来、さらなる能力が得られる確信」をもたせることにあります。

普段から「毎日、休まずにがんばっているね」と、努力を認める。「ノートの使い方を工夫しているんだね」と、子どもが自主的に取り組み方を工夫していることを認める。他にも、集中力や(2)「インタイリヨク」を認める。

このように、日常生活のなかで、子どもの努力を認めたいうえで、成果が出たら、「ほんとうによかったね！これで、また一歩、目標に近づけたね」「普段ががんばっているから、いいことがあるんだよ」というように、喜びを共感しながら、「あきらめないで努力し続けることで、将来、得られる能力や状態」を指摘するのです。

また、一定期間努力しても結果が出ていない場合も、同様です。失敗が続いているからといって「(親の)私も頭が悪いから仕方がない」「(親の)私も数学は苦手だったからあなたもできなかったんだね」などと、(3)「アンイ」な慰め方をすることはダメです。

そうではなく、「今の状態は最終結果ではなく、あくまで長い人生のプロセスの途中段階」「まだ達成できていないだけ」という姿勢で接しましょう。このような姿勢で接することで、成功や失敗といった今の状態に左右されない、不屈の精神が育まれます。

つまり、「成果にかかわらず、この努力には意味があるんだ」「失敗したからといって、私がダメな人間になるわけではない。私には価値があるんだ」と感じられ、やるぞ意が高まるため、あきらめてしまいくくなるのです。

こうした「まだ達成できていないだけ」という態度は、子どもとのコミュニケーションだけでなく、学校の仕組みにも取り入れることができます。ドウェック博士によると、(II)「アメリカのシカゴにある某高校では、卒業試験に合格できなかった生徒に、ユニークな伝え方をしているそうです。何と伝えていると思いますか？」

普通だったら「不合格」と伝えますよね。しかし、この学校では「Not yet(まだ合格ではない)」と伝えるそうです。「不合格」と伝えられると、全否定されたように感じられるのに対し、「まだ」と伝えられると、学習プロセスのなかにいると感じられ、「いつかは！」と希望がもてますよね。ステキな表現だと思いませんか？

(蝦名玲子『生き抜く力』の育て方 逆境を成長につなげるために』大修館書店)

問一 傍線部(1)～(3)のカタカナを漢字で書きなさい。

- (1) ショウニン (2) ニンタイリョク (3) アンイ

問二 傍線部(ア)～(エ)の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

- (ア) 惨 (イ) 背 (ウ) 妨 (エ) 育

問三 空欄 X に入る最も適切な語を次の中から選び、記号で答えなさい。

1. 唯我独尊 2. 傍若無人 3. 独立独歩 4. 唯一無二 5. 天真爛漫

問四 空欄 A、B、C に入る最も適切な語を次の中から選び、それぞれ番号で答えなさい。

1. さらに 2. いずれにしても 3. たとえば 4. しかし 5. つまり

問五 子どもが、失敗を恐れるようになる褒め方とは、どのような褒め方か。本文中から十字以内で抜き出しなさい。

問六 本文で述べられている子どもの「内発的動機」の具体例を三つ書きなさい。

問七 傍線部(a)、(b)の指示語の示す内容を書きなさい。

問八 傍線部(I)「証」として示されている内容を、本文中から抜き出しなさい。

問九 傍線部(II)「アメリカのシカゴにある某高校では、卒業試験に合格できなかった生徒に、ユニークな伝え方をしているそうです」とありますが、筆者は、その伝え方にどのような良さがあると述べているか答えなさい。

二 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

(前略) 巨大な欧米風建築に取り囲まれた宮城前の広場に立ってしみじみと感ぜさせられることは、江戸時代の遺構が実に強い底力を持っているということである。それは周囲に(I)対立者のない時にはさほど目立たなかった。それほど何げのない、なだらかな、当たり前の形をしているからである。しかるにその、「なんにもない」と思われていた形の中から、対立者に応じて澀刺はつさとしたものが(ア)湧き出て来る。たとえば桜田門がそれである。あの門外でながめられるお濠の土手はかなり高い。しかしそれは(1)オタやかな、またなだらかな形の土手であって、必ずしも偉大さ力強さを印象するものではなかった。しかるに今この門外に立って見ると、大正昭和の日本を(2)キネンする巨大な議事堂が丘の上から見おろしている。そうして間近には警視庁の大建築がそそり立っている。そうするとあのなだらかな土手が(3)フシギにも偉大さを印象し始めるのである。あの濠と土手とによる大きい空間の区切り方には、(4)イヨウに力強い壮大なものがある。しばらく議事堂や警視庁の建築をながめたあとで、眼を返してお濠と土手をながめるならば、刺激的な芸のあとに無言の(イ)腹芸を見るような、もしくは(ウ)巧言令色の人に接したあとで(エ)無為に化する人に逢ったような、深い喜びを

感ずるであろう。そうしてさらに門内に歩み入って、古風な二つの門と、さびた石垣と、お濠と土手とだけでできている(5)セイジヤクな世界の中に立つと、(II)我々の離れて行くこととする世界にもどれほど真実なもの偉大なものがあつたかを感ぜずにはいられないであろう。

(坂部恵編『和辻哲郎隨筆集』岩波書店)

(注) 宮城(きゅうじょう)・・・現在の皇居、かつての江戸城のこと。

問一 傍線部(1)～(5)のカタカナを漢字で書きなさい。

(1) オダ (2) キネン (3) フシギ (4) イヨウ (5) セイジヤク

問二 傍線部(ア)～(エ)の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

(ア) 湧 (イ) 腹芸 (ウ) 巧言令色 (エ) 無為

問三 傍線部(Ⅰ)「対立者」の内容を端的に示している語句を、本文中から五字以上十字以内で抜き出しなさい。

問四 傍線部(Ⅱ)「我々の離れて行くこととする世界」に向けられた筆者の姿勢として、最も適切なものを次の中から選び、番号で答えなさい。

1. 再認識
2. 再生産
3. 再構築
4. 再利用

正答例 & 解説

2022年度 学校推薦型選抜（公募推薦）【国語】

正答例

- 一 問一 (1) 承認 (2) 忍耐力 (3) 安易
 問二 (ア) みじ (イ) そむ (ウ) さまた (エ) はぐく
 問三 (X) 4
 問四 (A) 3 (B) 5 (C) 1
 問五 「現在の能力や状態」を褒める。
 問六 「自分をもっと学びたいから」「チャレンジするのが好き」
 「わかるが増えたらいいなど願っていた」
 問七 (a) 「クラスで一番なんてスゴイね」「勉強ができてエライね」
 (b) 「他人は敵」と見るようになってしまう。
 問八 失敗したときの脳の状態を調べてみると、このように現在の失敗状態にとらわれて
 いる子どもたちの脳は、ほとんど活動していませんでした。
 問九 「不合格」と伝えられると、全否定されたように感じられるのに対し、「まだ」と伝
 えられると、学習プロセスのなかに行くと感じられ、「いつかは！」と希望がもてる。
- 二 問一 (1) 隠 (2) 記念 (3) 不思議 (4) 異様 (5) 静寂
 問二 (ア) わ (イ) はらげい (ウ) こうげんれいしょく (エ) むい
 問三 (I) 巨大な欧米風建築
 問四 (II) 1

大問	問	点
1	1	各1.5点×3
	2	各1点×4
	3	2点
	4	各1点×3
	5	1点
	6	各1点×3
	7	各1点×2
	8	2点
	9	2点
2	1	各1.5点×5
	2	各1点×4
	3	2点
	4	3点
		合計40点



大学受験のエキスパート!
が詳しく解説!



攻略ポイント

全体で大問が2題で、大問一の設問数が9問、大問二の設問数が4問。設問内容は、漢字問題、接続語などの空欄補充問題、抜き出し問題、内容説明の問題、理由説明の問題である。全体的な難易度は高校基礎から標準レベルで、設問は基礎的な学力を問うものであり、難問レベルのものはない。漢字の読み・書き、抜き出しを含む記述式で出題されている。文章は比較的読み取りやすい内容であり、大問一の文章は3500字程度で標準的な文量であり、大問二の文章は700字程度で短めの文量である。設問についても、正確に文章内容を読み取る力を問うものである。学校で学習する内容を理解して、丁寧に文章を読み、設問に対して正確に解くことを身につけよう。そのうえで、びわこ学院大学短期大学部の過去問題を解いてしっかりと準備しよう。過去問題は必ず時間をはかり、2回以上解いて、読むスピードや解くスピードといった時間配分を確認しておこう。

大問一

問三の空欄補充問題では、前後のつながりを確認して判断しよう。空欄Aの直前「人間の姿をありのままに見て」と直後「まさに自分を尊敬する心が自尊心だ」というつながりを確認すれば、「ただそれ一つしかなく、二つとないもの」という意味の「唯一無二」に決まる。選択肢にあるものをはじめに、四字熟語についての知識を確認して、試験本番で正解できるよう準備しよう。

問九では、傍線部の「伝え方」にある「良さ」について、具体的内容の説明が問われている。傍線部の内容については次の段落で説明がされている。「希望がもてますよね」や「ステキな表現だと思いませんか?」に着目して、「良さ」についての説明をピックアップして、答案にまとめよう。記述対策として、習っている先生に添削をお願いして、改善点などのアドバイスをもらうのもよいだろう。

大問二

問一は漢字の書き取り問題、問二は漢字の読み取り問題である。合格に向けて、全問正解をめざそう。漢字問題は国語の基礎知識を問うものであり、おぼえていれば正解することができる。それゆえ、漢字の問題集を利用して集中的にインプットしよう。例えば、「一日に10問解く」「まちがえたら3回ずつ書いて練習する」というように目標を決めて、取り組んでいこう。とくに漢字の書き問題では、読みやすい字で、丁寧に楷書で書き込もう。

問三は傍線部「対立者」の内容を抜き出す問題である。傍線部直前「それ」が指すのは「江戸時代の遺構」である。それゆえ、「対立」するものは本文冒頭の「巨大な欧米風建築」であるとわかる。西洋と日本の対比を確認させる問題である。

問四は傍線部に対する筆者の姿勢を選ぶ問題である。直後に「どれほど真実なものの偉大なものがあつたかを感じずにはいられないであろう」とある。筆者は、傍線部の世界に対して改めて意義を見いだしたことから、「再認識」に決まる。